

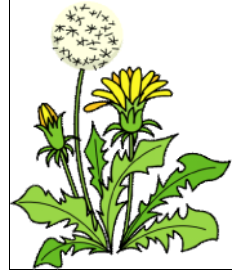
# 富山小学校だより



No. 3

## 「たんぽぽ」のように

春になると、道ばたや空き地、アスファルトの割れ目など、いろいろな所で、「たんぽぽ」がかわいらしいきれいな花をさかせます。学校の敷地内にもたくさんの「たんぽぽ」の花が咲きました。「たんぽぽ」は、普通に見かける普通の花、普通の草のように思えますが、よく考えてみると魅力的な植物であると思います。



2年生の国語の教科書(教科書「新しい国語上」)に「たんぽぽ」という説明文が載っており、子ども達は2年生の国語の学習でこの文に出会います。この文の最初と最後の部分は右の通りですが、次のような興味深い内容も載っています。

- ・「たんぽぽ」の根は長くて、100センチ以上のものもある。
- ・花は、夕方、日がかけると閉じて、次の日、日がさしてくるとまた開く。
- ・一つの花のように見えるのは、小さな花の集まりで、小さな花を数えてみたら、180もあった。これより多い物も少ない物もある。この小さな花に、実が一つずつできる。
- ・実が熟してタネができ、晴れた日に綿毛が開き、綿毛はタネをつけたまま風に吹き飛ばされる。綿毛が土に落ちると、綿毛についているタネがやがて芽をだす。

このように、「たんぽぽ」からいろいろと学べることを考え、5月2日(水)の全校集会で、『たんぽぽ』のように・・・という題で次のような話をしました。

### 【全校集会での校長の話】

(略) 今日、「たんぽぽ」についてお話をします。2年生の教科書に出てくるお話と同じようなお話もしますが、私が「たんぽぽ」は、すごいなあと思っていることをお話しします。

春、「たんぽぽ」の花が咲きますが、冬の間、「たんぽぽ」はどうしていたかというと・・・・・・。「たんぽぽ」は、冬の間、葉っぱを地面につけてじっとしていました。葉っぱの上を冷たい風が吹いても、雪が乗っていても、「たんぽぽ」は平気です。時には、人に踏まれたり、人につみとられたりもしました。それでも、「たんぽぽ」は平気です。そのままじっと、春になるのを待っていました。

「たんぽぽ」は、いやなことやつらいことがあっても、じっと我慢しています。そして、

たんぽぽ  
たんぽぽは  
じょうぶな  
草  
です。はが  
ふまれたり、  
つみ  
とられたり  
しても、  
また生  
えてきます。  
ねが  
生きていて、  
新しい  
はを  
つくり出す  
ので

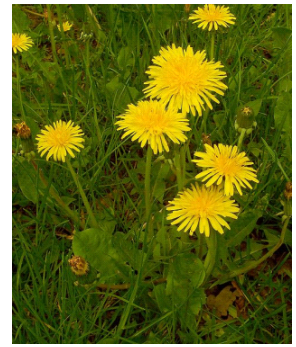
(途中略)

このように  
して、  
たんぽ  
ぽは  
生  
は、  
いろ  
いろ  
な  
と  
ころ  
に  
い  
く  
え、  
な  
か  
ま  
を  
ふ  
や  
し  
て  
い  
く  
の  
で  
す。



少しのことでは、負けません。

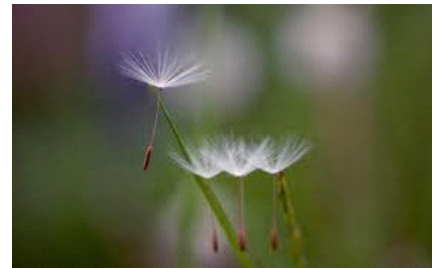
春になると、「たんぽぽ」は新しい葉っぱを出して、立ち上がります。そして、花を咲かせる準備をします。春の晴れた日に、花が咲きます。花は、夕方、日がかげると、閉じてしまいます。夜の間は、ずっと閉じています。次の日、日がさしてくると、また開きます。



このように、「たんぽぽ」はとてもじょうぶな草、強い草です。どうして「たんぽぽ」はこんなに強いのか？その強さの秘密はどこにあるのか？それは、教科書に書いてあります。(教科書の「たんぽぽの根」の絵を掲示して) これは、教科書にのっている「たんぽぽ」の根の絵です。「たんぽぽ」の根は長くて、100センチ以上のももあるそうです。(ここで、1メートルものさしを使用して長さについて説明)

太くて長い根だから、冬の寒さや雪にも耐えることができるし、人に踏まれても平気なのです。みなさんも、「たんぽぽ」の根のような「強くて丈夫な体」、そして、「強い心」を育ててほしいです。

次に、「たんぽぽ」の「綿毛」についてお話します。花がしぼむと、実が育っていきます。実が熟してタネができ、綿毛ができます。これが、「綿毛」の写真を掲示して) 綿毛の写真です。



綿毛には、タネがついています。軽くてふわふわした綿毛は、タネをつけたまま風に乗って、いろいろな所へ飛んでいきます。綿毛と一緒に飛んでいったタネの中には、川に落ちたり、屋根の上に落ちたり、アスファルトやコンクリートの上に落ちたりして、芽を出さないものもあります。しかし、道ばたや空き地、アスファルトやコンクリートの割れ目など、土がある所に落ちたタネは、そこで芽を出して、春になるとまた花を咲かせます。

タネは風に吹かれて、いろいろな場所に落ちます。自分が希望していない場所にも予想もしていなかった場所にも落ちます。しかし、「たんぽぽ」はそんなことに文句を言わないで、土がある場所に落ちたタネが芽を出して、また花を咲かせます。

「たんぽぽ」の綿毛のことを考えると、チャレンジが大切だなあとと思います。チャレンジというのは、「挑戦すること、いろいろとやってみること、いろいろと頑張ってみること」です。

「たんぽぽ」のタネが土がない所に落ちて、芽が出ないように、うまくいかない時や失敗が続いても、あきらめないうまくいくようになると思います。

今日は、「たんぽぽ」についてのお話をしました。みんな、「たんぽぽ」のように、「強くて丈夫な体」と「強い心」を育ててほしいです。そして、「あきらめないうまくいくようにいろいろなことにチャレンジ」してほしいです。



よく見かける「たんぽぽ」なので、つい見過ごしてしまいそうですが、私自身、これからは「たんぽぽ」を見るたびに、「たんぽぽのように・・・」という気持ちを大切にしたいです。